

カナディアンワールド、景観維持を目指し市民が集結



10月5日、芦別青年会議所の主催により「カナディアンワールドに花を咲かせよう!!2019」が、カナディアンワールド公園で行われました。これはカナディアンワールド公園の今後の景観維持を目指して行われた事業で、当日は親子連れなど約50人の市民ボランティアが参加。公園敷地内で花の種まき作業など

を行い、作業終了後には、参加者への感謝の気持ちを込めて公園内のテラノーヴァでオルゴールコンサートも開催されました。芦別青年会議所副理事長の道島悠太さんは「これからも市民皆さんで力を合わせてより良い芦別をつくっていきましょう」と集まった市民の前に感謝の意を述べていました。

幅広い芸術と文化を鑑賞 芸術の秋を満喫

「第63回芦別市民芸術祭」が、10月5日と6日、市民会館と青年センターで開催されました。展示会場には、絵画や書道、盆栽、手芸、写真をはじめ、俳句や短歌などの幅広い分野で市民の力作が並び、みどり幼稚園や小中高生による絵画や書道などの作品も昨年に引き

続き展示されました。また6日には、市民会館大ホールにおいて、大正琴や民謡、吹奏楽、合唱、ダンスなどの団体が日ごろの活動の成果を披露。訪れた人たちは展示された芸術作品やステージ上での芸能発表を熱心に鑑賞するなど、芸術の秋を満喫していました。



「ジャンボかぼちゃ祭り」秋晴れのもと多くの人で賑わう



10月6日、芦別市国際交流協会の主催により「第27回国際友好ジャンボかぼちゃ祭り」が道の駅スタープラザ芦別で開催されました。これは姉妹都市のカナダ・シャーロットタウン市との共通農産物である「かぼちゃ」をテーマにした、ハロウィーンと国際交流を楽しむイベ

ント。当日は天候にも恵まれて多くの人々が来場し、毎年好評の「かぼちゃランタン作り」や、出店のかぼちゃグルメなどを楽しんでいました。また午後からの仮装大会では、ユニークな衣装に身を包んだ子どもたちが会場を練り歩き、一足早いハロウィーンを盛り上げました。

さわやかな秋晴れのもと、紅葉に染まる景色の中をウォーキング

10月14日、市民の健康・体力づくりを目的とした「第43回市民ラジオ体操会兼第54回市民あるけあるけ運動」が、なまこ山総合運動公園をメイン会場にして行われました。「市民あるけあるけ運動」は、なまこ山総合運動公園から道の駅までの往復4キコースと、旭ヶ丘公園までの8キのコースの2つで実施され、

合わせて94人の市民が参加。当日はさわやかな秋晴れとなり、参加者たちは、秋の紅葉に染まった山並みの景色が広がる中を歩きながら、健やかな汗を流していました。また、ゴール後には全員に豚汁が配られ、ウォーキングで疲れた体を温めながら、今年で最後になる「体育の日」を楽しく過ごしていました。

